



ほほえみ



『いじめゼロ子どもサミット』(12年目)開催

期日：令和6年5月14日(火) 会場：小山市桑市民交流センター



市内小・中・義務教育学校の代表児童生徒が集い、主体的な話し合いを通して、いじめのない明るく笑顔あふれる学校にしていくことを目指して『いじめゼロ子どもサミット』を開催しました。

今年は「多様性を理解し合い、誰もが自分らしく生活できる学校～ちがいを認め合える、いじめのない学校を目指して～」のテーマのもと、各中学校区で話し合いました。



第1部「おなじ/ちがい」の「いいこと/むずかしいこと」って？

一人一人がちがうことで視野が広がったり、補ったりすることができるよね。



【ほとんどの人が同じで、いいこと】

- ・友達と話をしていることが同じ時、共感し合える、仲良くなれる。
- ・安心感がある。
- ・伝えにくいことでも伝えられる。

【一人一人がちがうことで、いいこと】

- ・視野が広がり、話が深くなる。
- ・選択の幅が広がる。
- ・ちがう意見や考えを知ることができる。
- ・補うことができる。

【ほとんどの人が同じで、むずかしいこと】

- ・新たな視点で見ることやちがう人の考えを知ることができない。
- ・自分らしさがない。
- ・少数の意見が生かされない。
- ・ちがう人を仲間外れする。



【一人一人がちがうことで、むずかしいこと】

- ・意見をまとめたり、団結したりするのがむずかしい。
- ・わかり合えなくて、疲れてしまう。
- ・意見のちがいから衝突しやすい。

第2部「いじめにつながりやすい『ちがい』とは？」

いじめにつながりやすい『ちがい』には、いろいろな要因があるよね。



【『ちがい』による生きづらさや困り感とは？】

- ・相手に合わせないといけなく。
- ・ちがいをからかわれる。
- ・自分の普通が認めてもらえない。
- ・周囲の普通が自分の普通ではない。

【いじめにつながりやすい『ちがい』とは？】

- ・容姿や体型
- ・友達関係のちがい
- ・考え方
- ・生まれた国や地域
- ・性格
- ・趣味



【『ちがい』は、なぜいじめにつながりやすいのか？】

- ・同じでないといけなく、合わせないといけなくという雰囲気。
- ・多数意見が正しいと思ってしまう。
- ・ちがうことを悪く言う人がいる。
- ・ちがいをもっている人が周囲に助けを求められない。
- ・ちがう考えの時に相手のことを知ろうとしない。



第3部「誰もが安心して生活できる学校にするためにできることは？」各中学校区で取り組むための条文を作成

【『ちがい』があっても安心して生活できる学校のための条文 ※一部紹介

- ・人とのちがいを悪いことと思わず、自信をもって生きていこう。自分らしくいいんだよ。
- ・ちがいはその人を表すものとして尊重しよう。
- ・自分の中の普通に縛られないようにしよう。
- ・相手のちがいを大切にし、自分の考えをもとう。



【実行委員からのメッセージ（抜粋）】

皆さんは今日のサミットを通してどのようなことを考え、感じたでしょうか。私はこのサミットを通して、自分らしさとはいったい何なのだろうかとということを考えました。私は、自分らしさとは「自分がいたい自分であること」だと思います。自分らしさという言葉は、今、とても世間に広がっていますが、なかなか自分の中では消化されていませんでした。しかし、今回のサミットに参加して、自分らしさというのは、自分がいたい自分のまま、自分が誇れる自分のままでいられることだと気が付くことができました。

今回の話し合いで、いじめをなくすために積極的に意見を出し合い、考えを深める皆さんを見て、そしてとても濃い時間を共有したことで、大人より、よりこの問題に近い距離にいる私たちだからこそ気付けること、できることがあると学ぶことができました。今日皆さんがそれぞれ感じた、改めて知った学びをぜひ学校に持ち帰り、共有してください。そしてきれいごとではなく、本当にみんなが過ごしやすい、自分のいたい自分でいられる学校生活を送るために活かしてください。いじめのない、誰もが自分らしく生活できる学校にしていきたいと思います。



児童生徒の感想（一部紹介）

- ・『ちがい』にはよい点も悪い点もあり、それを理解したうえで生活しなければいけないと思いました。
- ・一人ひとり個性が違って当然で、それを決めつけるといじめにつながってしまうのだと考えました。
- ・これからは、今回のサミットで学んだことを生かして、意見が分かれた時も立場を考えて接していこうと思いました。
- ・人とちがっていることは、すごく勇気がいるし難しいことだけど、自分らしい自分でいたいと思いました。



参観者の感想（一部紹介）

- ・子どもたち自身が、ちがいを考えるととてもよい機会になったのではないかと思います。
- ・子どもたちだけではなく、大人のいじめも問題です。私たち大人が、ちがいを認め、互いに自分らしく生活できるように努め、背中を見せなければと思いました。

小山市ホームページ「いじめゼロ子どもサミット」で見られます。

ちがいを認め合うことは、子どもたちだけでなく、私たち大人も自分らしく生活する上で欠かすことができません。まずは、私たち大人が身近なところから、ちがいを認め合う雰囲気をつくりあげていくことが大切ではないでしょうか。

祝市制70周年『第45回人権講演会』のお知らせ

- 日時：令和6年8月20日（火）12:45 開場 13:30 開演 15:10 終演
- 場所：小山市立文化センター大ホール 入場無料
- 演題：「戦場の現場から祈りを捧ぐ」
～命の大切さ 互いを愛し 敬いあうこと～
- 講師：渡部 陽一（戦場カメラマン）

※駐車場の台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関を御利用ください。

問合せ先 生涯学習課Tel22-9663 人権・男女共同参画課Tel22-9292



詳細はこちらから

